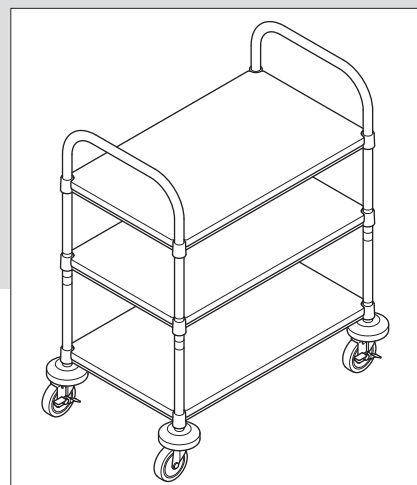


この度は、エレクター製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。本製品を安全にお使いいただくために、この説明書を良くお読みいただき、内容をご理解のうえ注意事項を遵守していただくようお願いいたします。



ご使用前に必ずお読みください

- **組み立て前に部品の不足・欠損がないか、必ずご確認ください。**
※ 商品には万全を期しておりますが、万一部品が不足・欠損していた場合は、組み立てを行わずお買い求めの販売店または弊社カスタマーサービスへご連絡ください。
- **組み立ては、この説明書をよくお読みになり、手順に従って正しく組み立ててください。**
※ 誤った組み立ては破損やケガの原因となります。
- **本製品は、配膳用に設計されており、屋内仕様となっております。**
- **この説明書は棚の組み替え、解体時に必要となりますので、組み立て後もお手元に保管してください。**
- **お取扱い上の不注意や商品の改造により生じた機能低下や事故については責任を負いかねます。**
- **他社製品を併用した組み付けはおやめください。**
- **下記の「警告・注意」をよくお読みいただき厳守していただくようお願いいたします。**

警告・注意



警告

- **耐荷重を超えて物を載せないでください。**
本製品の耐荷重は合計45kg、棚一段あたりの耐荷重は15kg（等分布）です。破損やケガを招く恐れがありますので、厳守してください。
- **本製品を踏み台にしたり、ぶら下がったり上に登るような行為は絶対に行わないでください。**
転倒や積載物の落下により重大な事故となる恐れがあります。
- **商品の改造は機能低下・事故・破損の原因となりますので、絶対におやめください。**



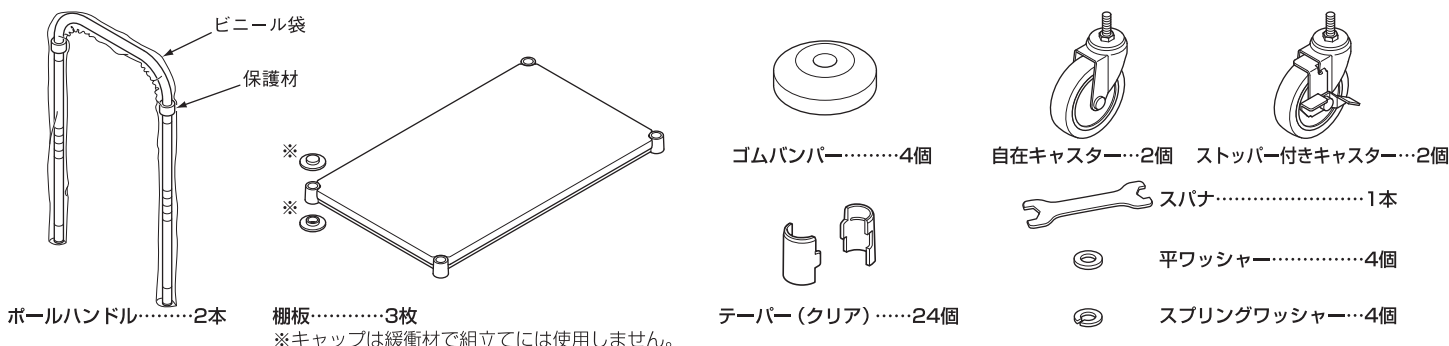
注意

- 組み立ては平坦で十分なスペースのある場所で行ってください。床や壁面の保護のために当て布などを敷いて作業してください。
- 組み立て時、使用時、製品に指などをはさまない様ご注意ください。
- テーパーがずれたり、棚が水平になっていないなど、組み立てが不十分な場合はそのまま使用せず、もう一度組み立て直してください。
- 傾斜した所や、段差があるなど不安定な場所には設置しないでください。転倒や積載物の落下により思わぬ事故の原因となります。
- 柔らかく、傷みやすい床面の場合、キズつけてしまう恐れがありますので、引きずったりしないでください。
- 棚板には不安定なものは載せないでください。落下して破損する原因となります。
- 棚板の取付位置を変更する際には、積載物をすべて降ろしてから行ってください。積載物の破損やケガなどの原因となります。
- キャスター部は定期的な点検し、締めつけ具合を確認してください。
- 走行する際は平坦な床面を、歩行速度以下（4km/h以下）で使用してください。
- 無理な段差の乗り越え等は物が落下して破損したり、本体の損傷等の原因となります。

ご使用上の注意

- 清掃の際には中性洗剤を使用し、水分が残らないよう乾いた布で拭き取ってください。
- ネジ、ボルト類で組み付け固定されている部分は、定期的な点検し、締め付け具合を確認してください。
- 食材などにより水分が付着した場合は、乾いた布で拭き取ってください。

構成部品

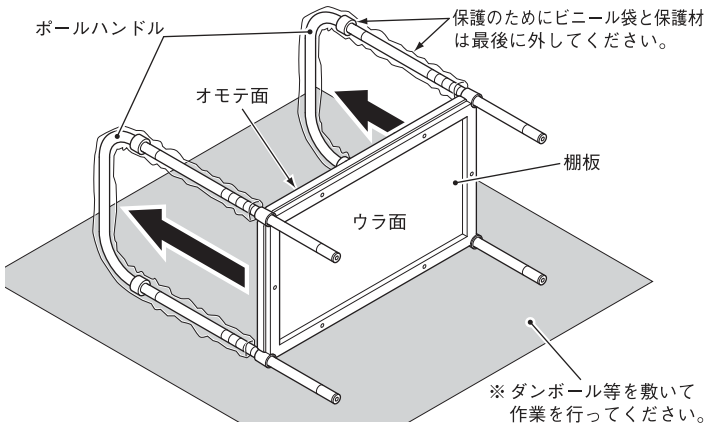


組み立て ●作業は平坦で十分なスペースのある場所で行ってください。

※組み立てにご用意いただくもの……軍手または手袋・ゴムハンマー

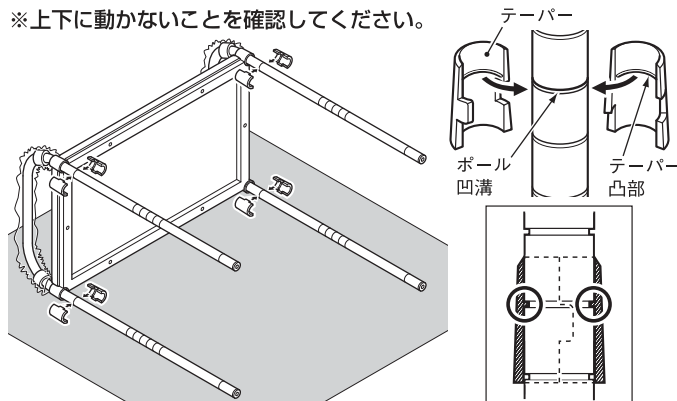
1 上段棚板をフレームポールに差し込む

棚板を横にして、棚板のオモテ面からポールハンドルに通します。棚板をあらかじめ最上段の溝より上に引き上げておきます。



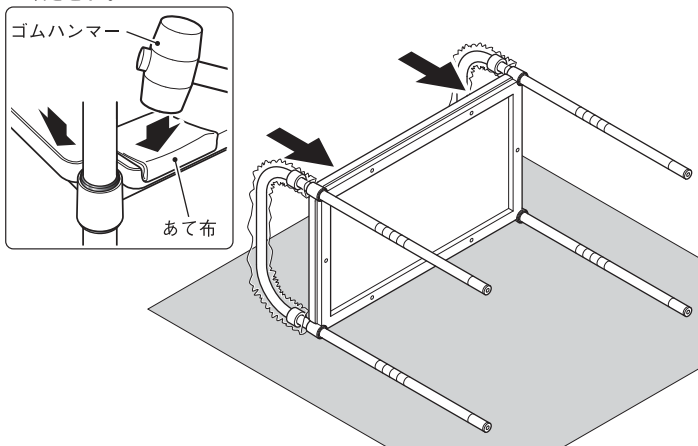
2 テーパーの取り付け

ポールハンドルの最上段の溝にテーパーを取り付けます。テーパーは裾の広い方を下向きにして、テーパー内側の凸部とポールハンドルの凹溝が合うように、1個ずつ「カチッ」と取り付けます。※上下に動かないことを確認してください。



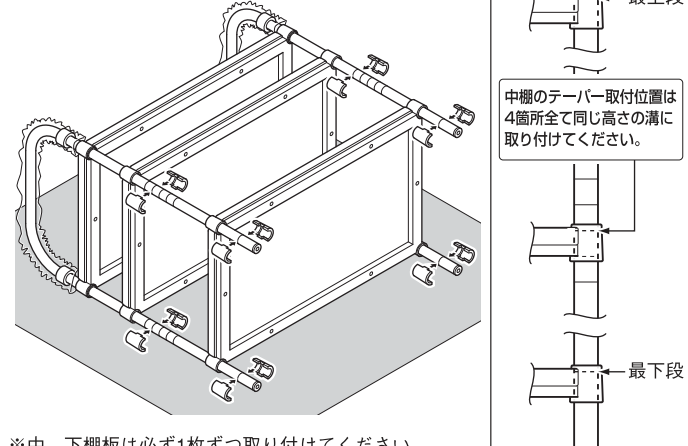
3 上段棚板の仮固定

上段棚板のコーナーリングをテーパーが隠れる所まで軽く差し込みます。ゴムハンマーで軽く四隅コーナー周辺を交互に叩いて仮固定します。※テーパーがズレずに、コーナーリングが正しく入っているか確認してください。



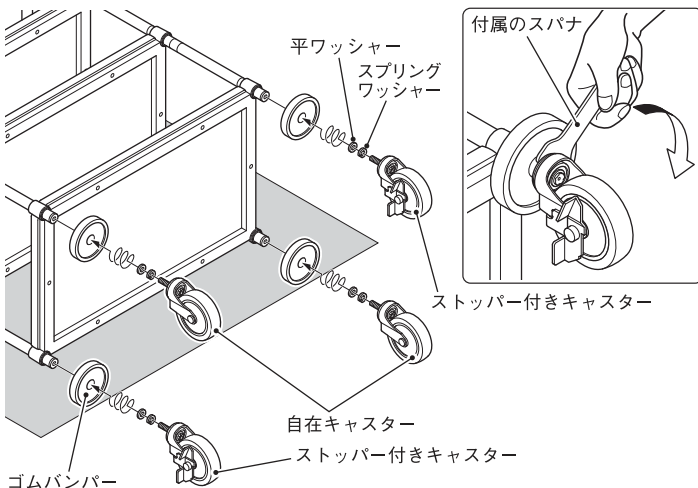
4 中棚板、下棚板の組み立て

1と同様に、ポールハンドルに中棚板を差し込みます。2の要領で、テーパーを取り付けます。中棚板を仮固定します。※下棚板についても同様に取り付けます。



5 キャスターの取り付け

ゴムバンパーをポールハンドルに取り付け、キャスターを仮組みします。最後に付属のスパナでしっかり固定してください。※締め忘れがないか、4輪共締めつけ具合を確認してください。



6 棚板の固定及び組み立ての確認

フォレストカートを起こします。3と同様に、ゴムハンマーで軽く四隅コーナー周辺を交互に叩いて固定します。(テーパーがコーナーリングより少し出る位置まで叩いてください) 全棚板の固定が終わりましたら、軽く押し当ていただきガタツキがないか確認してください。※キャスターは定期的に締め直しをしてください。※最後にビニール袋、保護材をお取りください。

